

自立支援型地域ケア会議で必要とされている作業療法士の関わり

日時：令和2年3月7日（土）13：30～16：30（受付開始 13：15～）

場所：ほっとあたま 第1会議室

13:15～13:30	受付
13:30～14:15	講義「自立支援型地域ケア会議で作業療法士に望むこと（仮）」 講師 田村市 保健福祉部 高齢福祉課 助川真美氏
	【ねらい】 福島県では、55市町村で自立支援型地域ケア会議が行われており、78名の作業療法士が関わっている。参加者からは、どのような助言をすればよいか、助言したことが役に立ったのか不安であるといった声が聞かれている。本講義では、実際に自立支援型地域ケア会議を主催する行政の立場から、作業療法士に望むことをお話しいただく。
14:15～14:25	休憩
14:25～15:00	講義「自立支援型地域ケア会議に関する日本作業療法士協会の取り組み」 講師 福島県リハビリテーション専門団体協議会事業協力委員会 委員長 根田英之氏
	【ねらい】 日本作業療法士協会では、地域包括ケアシステム推進委員会を中心に、会員が自立支援型地域ケア会議などに参画する際に役立つ資料を公開したり、研修会の開催も行っている。本講義では、自立支援型地域ケア会議に関する協会の動向などについてお伝えする。
15:00～15:10	休憩
15:10～16:30	情報交換「自立支援型地域ケア会議での悩みと工夫」
	【ねらい】 実際に自立支援型地域ケア会議に参加して、困ったことや不安だったこと、工夫していることやうまくいったことなどに関する情報交換を行う。